

災害情報

平成30年8月16日16:00現在

国土交通省

平成30年口永良部島の火山活動の高まりに伴う被害状況等について（第2報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	8月15日	10:30	警戒体制			
九州地方整備局	8月15日	10:30	警戒体制	九州運輸局	8月15日	10:30 警戒体制
国土地理院	8月15日	10:30	警戒体制	気象庁	8月15日	10:30 非常体制
国土技術政策総合研究所	8月15日	10:30	警戒体制			

2. 火山活動等の概要（8月16日14時現在）

○8月8日頃から、火山性地震や火山ガスの放出量が多い状態で経過していたが、8月15日0時頃からこれまでより深い場所で火山性地震が増加し、昨日（15日）36回、本日（16日）正午までに1回発生。昨日未明に最大でマグニチュード1.9（速報値）を観測。

○火山性地震の震源は新岳の南西山麓付近の深さ約5kmで、2015年5月の噴火前（2015年1月）に発生した地震と概ね同じ場所であると推定されることから、今後、火山活動が更に高まる可能性。

【噴火警報（8月15日10時30分発表）】

○噴火警戒レベル2（火口周辺規制）からレベル4（避難準備）に引き上げ。

○対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で警戒が必要。

鹿児島県：屋久島町

3. 国土交通省の対応

○国土交通省連絡調整会議を開催（8/15 14:30、8/16 14:30）

○国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める

○ホットラインの実施状況

・屋久島町長との情報収集体制を確立済み

○TEC-FORCE等の派遣【のべ1人・日派遣（8/15）】

・TEC-FORCE（リエゾン）の派遣 1人・日派遣（8/15）

・TEC-FORCE（リエゾン）の派遣状況（単位：人）

派遣先		派遣元	8月		合計	合計 (市町村)
都道府県	市町村等		15	16		
鹿児島県	鹿児島県庁	九州運輸局	1	0	1	1
合計			1	0	1	1

4. 気象庁の対応

○噴火警報発表（噴火警戒レベル4（避難準備）に引き上げ）（8月15日10時30分）

○気象庁本庁記者会見（8月15日11時30分）

○火山の状況に関する解説情報を発表（8月15日16時00分、16日以降は基本的に1日1回）

○本日（8月16日）から火山機動観測班が口永良部島に常駐し、熱観測・火山ガス観測等を実施するとともに、本日10時30分に住民等に対して火山活動の説明を実施。

○引き続き嚴重な観測・監視、正確かつ迅速な情報提供を行い、火山の専門家や地元自治体との連携を密にして、対応に努める。

5. 海上保安庁の対応（8月16日12時現在）

(1)体制

【8月15日】

1030 海上保安庁災害対策室を設置

第十管区災害対策本部を設置

(2)対応勢力

○巡視船艇 3隻【延べ8隻】

○航空機 1機【延べ2機】

○リエゾン 屋久島町2名【鹿児島県、屋久島町：延べ6名】

(3)人的・物的被害及び主な対応状況

巡視船を口永良部島沖に配備中

航空機による状況調査等

(4)航行警報等発出状況

【8月15日】

1041 航行警報発出

1130 海の安全情報発出

6. 国土地理院の対応

○8月15日15:51 火山災害対策用図「口之永良部島」及び火山基本図データ「口之永良部島」を関係機関に提供。

7. 所管施設等の状況

○河川、管理ダム、土砂災害、水管理・国土保全局所管の海岸保全施設、下水道、道路、鉄道関係、自動車関係、航空関係、
海事関係、港湾関係、物流関係、公園・宅地関係、公営住宅等関係、官庁施設、観光関係
・現時点で被害情報なし

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 伊藤
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461